

(十二月のことば)

宗 象

16.

それ、それの人生と共に

吟人生

継続は力となりぬ

十一月三日、奥伝以上、師範審査直会が行われた。流統の三人行事の一端だ。筆記試験にはご自分の体験や考えを述べて頂く。又、奥伝と皆伝受審者には論文を提出して頂く。

ご入会の切っ掛けと色々あるが、「吟は音を知りてやうてい」と言われたから、お前、明日から行ってこい」とご主人に命令されて行かされたと言う出色の事であった。真、はの音、知と云うのはほとんど無く、口、音に慣れているだけであつて、吟はそれを克服します。

しかし、人はそれぞれに得手不得手があるのは否めない。「こんな風に続くとは思わなかつた」と、これは思ひ返すと其の通の思ひかも知れない。

ご自身の健康に、家庭のご不幸、吟がなかなか上達しない。等々弊害もあり、人間関係に悩むこともあると思われ。

それを克服して来たのは指導者の優しい、励ましであったり、今回は「吟友の励まし」の言葉が少なかつた。

諸々の障害を乗り越えての吟人生であると聞くと、「継続は力」の言葉が彷彿としてくる。乗り越えた言葉には勇気を頂く。今後とも共に倦まず弛まずの吟人生を歩んで行く。

(平成三十年十二月)